

2015 年 4 月 20 日
東日本旅客鉄道株式会社

インドネシアの鉄道事業者への車両の追加譲渡と乗務員による支援の実施について

JR 東日本は、2013 年より、埼京線や横浜線で使用してきた 205 系の車両 356 両をインドネシアの鉄道事業者であるジャカルタ首都圏鉄道会社に譲渡してまいりましたが、今回、南武線で使用してきた 205 系の車両 120 両についても譲渡します。

また、これまでの車両譲渡に合わせて、インドネシアの鉄道事業者とは様々な相互協力を実施しており、当社として初めて乗務員（運転士）による支援を実施しました。今後も更なる協力を進めてまいります。

1．車両譲渡

(1) 譲渡先

インドネシア共和国 ジャカルタ首都圏鉄道会社（PT KAI Commuter Jabodetabek）
同社はインドネシアの首都ジャカルタ近郊において都市鉄道の運行を行う鉄道事業者です。

(2) 譲渡車両

205 系電車（120 両）

南武線で使用してきた車両で、4 月下旬より
譲渡を開始します。



2．乗務員による支援の実施

ジャカルタ首都圏鉄道会社とは覚書に基づき、様々な相互協力を実施してきました。当社として、初めて乗務員（運転士）による車両の点検・整備に関する支援を実施しました。今後も技術支援の深度化等、更なる協力を進めてまいります。

